



## 東日本大震災その後

東日本大震災から九ヶ月経ちましたが、まだまだ大変な思いをされている被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地は厳しい冬を迎え、大変な状況は今も続いているとのこと、心がいたみまます。当協会は各市や町に義援金を送り、石巻・他に救援物資、毛糸編み等の支援をしてきました。今後も支援活動を継続していく方針ですが、避難所におられた方々の消息を知るにも個人情報流出の壁があり、思うように何もできない、悶々とした月日が経過しております。被災された方々のことは一日も忘れることなく、いろいろ情報収集の中、有効な支援活動を模索しています。今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げます。

### 被災地との交流

#### 嬉しい便り

エル・エンジェルボランティアが石巻市の避難所を訪問した時、その避難所に避難されていたT・Hさんよりお便りを頂きました。お手紙には「・・・編み物を教えるに来て頂き、暗くなっていた避難所生活に少し光が差したような気分になりました・・・」と書かれており、私どもの励みになりました。そして大きく被災されたご自宅の修復を終え、ご自宅に戻られたとの嬉しいお知らせでした。私達が毛糸を持って行かせていただいた時、教えに行ったつもりがいろいろ教えていただいた方です。お渡しして来た毛糸でたくさん編み物

をされ、写真に写して送ってくださいました。訪れた時も編み物をしている時間をとても楽しんで下さり、明るく絶えず笑顔で気丈な心を見せていただきました。このたび当協会より長い冬に向け、皆様とおやつを頂きながら、穏やかに編み物など楽しんで頂ければと毛糸や食品、お菓子など便りと共に送らせて頂きました。



T・Hさん 自宅にて

愛は愛によって生まれ、愛は愛によって理解される。

### サンマが届きました

このたびの震災で大きな被害に遭われた石巻在住のNさんから今年もサンマが届きました。

9月に入ると毎年送られてきていたサンマですが、今年は格別の思いでいただきました。震災直後の石巻市街を目の当たりにしていただだけに、まさか例年通り届くとはいもしなかつたサンマ。添えられた短い便りに、まだ癒えぬ彼女の胸中が察せられ、そんな中でも律儀に・・・。けな気な心に彼女へのより深い愛しい思いが溢れ、「平安なる日々を」と祈念いたしております。

### 広島より石巻へ

広島のS様より「自宅の庭で採れた梅を漬けたので、被災地の方にどうぞ」と6キロの梅干しと紫蘇を送っていただきました。早速、石巻のNさん宛に送らせていただきました。梅干し漬けもできない方々が多いので小分けして皆様に配らせていただきます。」とお喜びいただきました。

### 感謝状を

いただいて

十一月一日、海老名市より東北大震災に対し、海老名市とともに支援に協力したとのことで感謝状をいただきました。

当日、会場に被災地の白石市の市長も参列され、支援された一人一人に深く頭を下げられ、涙声でお礼を述べてくださるお姿に胸がまる思いでした。

どんなにか驚かれ、悲しまれ、途方にくれる思いだったことでしょう、そんな中、震災の翌々日届いた米へりでの支援物資の数々にどんなに力強くおもわれたことか、床につかンばかりに頭を深くさげられたお姿に現地での目撃に、被災の大きさがよぎり、ボランティアの大切さを改めて痛感いたしました。

### 当協会の理念

自己満足に捉われない・他を批判しない・価値観の押し付けはしない・執着を持たない(無私の愛を持って)。この理念を常に心に問いかけてながら、ボランティアをさせていただきます。

# ボランテイアの旅(ネパール)

エル・エンジェル校

## 準備にあたって

今年も皆様のご協力のお蔭でたくさんのお品々を子供達に届けることが出来ました。三校、合わせて六四〇名の生徒と先生達及び父兄にお喜びいただきました。

## 三校訪問

十一月十二日より十一月二十日までボランテイアでネパールの学校、エル・エンジェル校・ナヤガン校(ゴルメスワリー校)・ドリケル校を訪問しました。

エル・エンジェル校では恒例の第四回技術大会、ナヤガン校は五年生の修学旅行、手と手をつないで歩くことで心が通じ合ったような嬉しいワクワク感、ドリケル校ではプレゼントをどう渡そうかと思うほどドキドキ、いっぱいキラキラした瞳に合いました。大勢の子供達が私達を迎えてくれました。

ご寄付頂いたたくさんのおバックや学用品、ぬいぐるみなど、お土産を届けさせていただきました。

紙面の都合上、今回はエル・エンジェル校を中心として紹介させていただきます。ナヤガン校・ドリケル校は次号にてお知らせいたします。

## 理事長挨拶

このたびエル・エンジェル校を訪問した折、校庭に集合した全校生徒・先生に対して理事長はつぎのような内容の挨拶をいたしました。

まず、生徒たちに、あなた達は良く学んでくれ、ネパールでも高いレベルの学校と評価されるようになりました。これはみなさんが頑張っていてくれることの結果でありとても誇りに思います。それから、三月に発生した東日本大震災によるツナミ災害についての情報を知っているか否か問いかけられ、日本が災害復興で大変な時期にも拘わらず、今回も多くボランテイアがエル・エンジェル校を訪問した意義を説明し、私達はみなさんのことはかたきも忘れることなく大切に思っております。私達日本人はエル・エンジェル校生徒たちの教育向上はもとより、他を思いやる心の大切さを強調し、世界に貢献できる人になるよう願っている、と力説しました。

さらに、生徒の皆さんがいかなる厳しい境遇になっても、「知識を得て、ダルマを育み、世界に貢献する」とのエル・エンジェル校創設以来の理念をしっかり守って、学んでほしいと話しました。

## 技術大会

毎年恒例になった技術大会、一年生から3年生は折紙です。折紙3枚を使ったコマ作り、一年生には少し難しかったのかな？少し折っては次又つぎ折ってとたくさんのお手紙が伸びてきました。風船や折鶴など持参した折紙でいっぱい折りました。

4年生から7年生は今年初めての男女合同のプラモデル作り、8年生、9年生、10年生はパソコンです。

今回は今まで経験したことのないような天気でした。山は一度も見えず、雨が降ったり、やんだりです。幸いなことに前日遅くまで降っていた雨はやみ技術大会の始まりです。4年生は少し簡単な、学年が上がることに少しずつ難位度を上げてと考えました。

教えることの難しさを実感しました。すぐに出来る子は説明書を読むほどもなく出来るのですが、説明書をよく読まず部品をあまり置いたり、タイヤが前後したり、安易にボランテイアが手を出したり、いろいろ反省もあります。

今年もレーンも延長し充分走らせることが出来ました。8年生からのパソコンは、他の授業に時間をとられ、あまりやってなかったようです。高学年の授業は、ネパール国語以外すべて英語で行われているそうです。

高学年の賞品は一等から三等まで特別賞を含め腕時計やデジカメ、

ウオークマンなど、他の学年はプラモデルなど渡しました。



プラモデル作り



いざ 本番!

## 生徒達の変化

まず目についたのは柱にしばらくはバケツでした。昼食の時に出るゴミやその他のゴミを入れるゴミ箱でした。今ではゴミひとつないきれいな学校になりました。ネパールの人はどこでもゴミを捨てています。道路でも校庭でもポイとすぐに捨てます。行くとたびに理事長が根気よく教えられました。又、日本に招聘した生徒も日本の道路、広場のきれいなことに感激していました。エル・エンジェル校は学力だけではなく、モラルもしっかり根づいた良い学校に育っていると嬉しく思いました。

## 若き可能性

二〇一〇年に招聘したハリクリシユナ君のご記憶の方も多いと思います。ラマチョー村の特別枠で来た歌の上手な生徒です。

理事長に成績が上がれば来日を許可すると言われ、びつくりするほど成績が急上昇した生徒です。貧しいラマチョー村に生まれ、常に付きまとうカースト、小さくちぢこまった学校生活の中でチャンスをもたらすことで頑張り、理事長に「認められた」ことで自信に繋がりました。その後の彼の原動力になったのは「自分の存在を認めていただいた」ことであつたと思われます。

現在エル・エンジェル校を卒業し、

上のランクの学校に行つてます。二年の期間が終了し国の試験に受ければ大学を受ける資格が得られます。将来は会計士になりたいそうです。理事長に認めてもらったことで一人の生徒の人生が変わりました。誰もが持っている宝が上手に開きました。ボランティアさせていただいた私達の心にも嬉しい喜びが広がりました。ありがとうございます！若きガンバリにありがとう！

## 先生にボーナスを

日ごろエル・エンジェル校の生徒達の為、頑張っている先生全員に給料一ヶ月の特別ボーナスをお渡しして来しました。このことを励みに良い教育指導をしてくれることを望んでいます。

## 変わりゆくネパール

王政から民政へと変化してきた中、今年は政権が毛思想グループからの首相となり、街中も、いつも利用しているホテルまでも変わりました。カトマンズ市街の道端にひしめく店には中国製品が山と積まれ、夕方ともなると買い物目当てと思われる人達で歩道も歩けないくらいです。そんな中、粗末な服装に裸足に近い身なりの人々も多く、貧富の差が大きく浮き彫りに現れている中、若者たちによるデモ集団が声高々に

街のあちこちで起こっており、まさしくネパールは今大きく変化しつつあるようです。

## 企業からの支援

I様が勤務されているファイザー・ホールディング(株)様から、今年もネパール エル・エンジェル校技術競技大会の支援としてご寄付をいただきました。お陰さまで四年から七年クラスの子生達たちはプラモデル・カー作りに夢中になり、校庭一杯に広げたサーキット・レーンを走る車に大歓声をあげていました。企業様のあたたかいご支援に感謝申し上げます。

## 孤児院だより (インド)

エル・エンジェルチャイルドホームからの嬉しいおたよりです。3月11日の大震災に対しておやつを辞め、食事を半分にして貯めた義援金を送ってきた感動は今も心に深く残っている中、今回は、また嬉しいご報告です。

今期の学校の一斉テストで、8年生のガナガラジュ君は600点満点中、537点を取り(1000点満点中、英語98点・テルグー語86点・ヒンディー語83点・数学86点・社会94点、50点満点中、自然科学48点・物理42点)学年で一番になりました。このことは、とてもとてもすばらしいことです。

また、同じく8年生のキラン・クマールさんは534点を取り、学年で二番となりました。ほんの一寸の点の差、どんなにか悔しい思いをしていることか、きつとこのことでも頑張りましょう。

この朗報は、他の子供たちにも勇気を与えているとともに、職員の方々にも大きな喜びをもたらし、どの子の長所をも伸ばしてあげたいと語り合っているとのことです。

両親を亡くし途方に暮れていた子、路上での生活を余儀なくされていた子、しかし今、指導力に優れた良い職員がいるエル・エンジェルチャイルドホームで生活することにより、こんなにもすばらしい成長を見せてくれ感謝の思いでいっぱいです。

一重に、天に徳を積むが如く継続して孤児をご支援くださるみな様のお蔭でございます。

今後ともご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## ホテルの廊下で

「皆さんお揃いのジャンパーで・・・」とお声をかけて下さったご夫妻にお会いしました。当協会ボランティア活動をかいつまんでお話しさせていただき「お恥ずかしい、私どもは観光なんですよ」とご謙遜なさり「少しですが、お役立ててください」とご寄付してくださいました。出会いに感謝申し上げます。

～ 二 二 二 ～

一年がかりで

広島のMさまより、段ボール箱30個に入ったたくさんの支援物資をお届けいただきました。きれいなカバンや小物とどれも新品の品々。11月のネパール訪問の折、子供たちへのプレゼントにさせていただきますました。日本人の私たちも欲しくなるような素敵な品物に、子供たちも大喜びでした。Mさまは、約1年がかりで集めてくださり、お嬢様たちもご協力くださったとのこと、これらたくさんの品の保管はもとより、送料までご負担いただいていたことでした。保管場所やかさむ送料に恐縮する私どもに「これ位させてください」と明るなお声で言ってください、軽やかなそのお心に光を感じています。

つなぐ心

ドリケル校（正式にはマンダリ・デビ小学校校です）

お亡くなりになったお父様のご遺志を継いで、ネパールの子どもの達のために創ってほしいと、お嬢様のTさんからのご寄付で昨年、ドリケル校に4教室とトイレが完成しました。3月の震災のためご報告が遅れましたが今年訪れたとき、教室は有効に使われていて嬉しく思いました。お父様とTさんの思いが一杯詰まった真新しい校舎は山の谷間に輝いていました。しつかり勉強して楽しい学校生活を送って欲しいと思いました。



2010年 11月

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

支える会より

皆様の暖かいお心により、秋のバザーを盛大に無事終えることができました。ありがとうございます。一つ一つ丁寧に心こめて作って下さった手作り品や、贈答品・新品雑貨等の品物を、お役にたきたいと願って送っていただいたおかげで、販売金額もこの他多くありました。また、販売をして下さったたくさんのボランティア様のお力で6回も開催することができました。ありがとうございます。

\*集めています。

書き損じはがき・切手・図書カード・ビール券・旅行券・旧紙幣・ドル紙幣・金のアクセサリや金貨、プラチナアクセサリー等の寄付を募っております。多くの方の善意から支援ができます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

今年は震災がどなたの心にも影を落とした一年でもありましたが、多くの方々のご善意や人と人との繋がりが、など大切なことを気づかされた一年でもありました。来年は、被災された一人ひとりに平穏な日常が一日でも早く戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

当ボランティア協会としまして、今後とも最大限ご支援をさせていただく所存ですので、ご協力よろしく願いいたします。  
(M・S)